



トステム株式会社

リビング建材 SLシリーズ 戸襖ドア枠

取付け説明書

- この説明書は、必ず施工される方にお渡してください。
- 本製品の薄壁用は壁厚(117~138mm)、厚壁用は壁厚(137~175mm)、204用は壁厚(113~117)まで取付けられます。

取付け上のお願

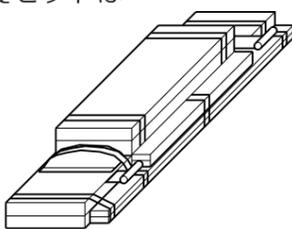
- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 造作材の取付け・建具のかい木には、必ず接着剤を併用してください。
かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は、「F★★★★」又はノンホルムタイプを使用してください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。
締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
- 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損の原因になります。
- 丁番は指定のねじで締付け、ガタツキのないように固定してください。調整後ガタツキがないことを確認してください。
- 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には、必ずすき間を作り、かい木を入れてください。かい木は合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。
やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- くつすり部の納め方に応じて縦枠を切断してください。
- ドアストッパーを壁に取付ける場合は、補強材が入っていることを確認してください。

縦枠の切断

くつすり無し	60mmカット
くつすり	46mmカット

部品・部材の明細

※ドア本体及び戸襖錠セットは別梱包になります。



ケーシングセット明細(別売り)

	上ケーシング	縦ケーシング
ケーシングセット	1	2

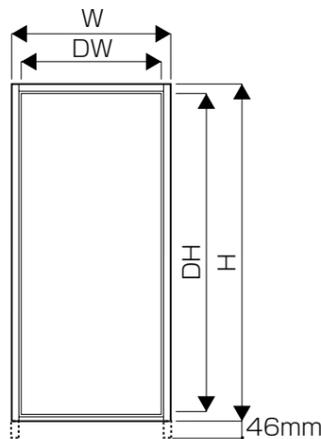
枠セット明細

	縦枠	上枠	くつすり	戸当り	枠定規
戸襖ドア	2	1	1	縦2・上1	1

部品セット標準ドア用

DNねじ65 (φ3.8×65)	8
トラスタッピンねじ (φ4.0×55)	16

製品寸法表



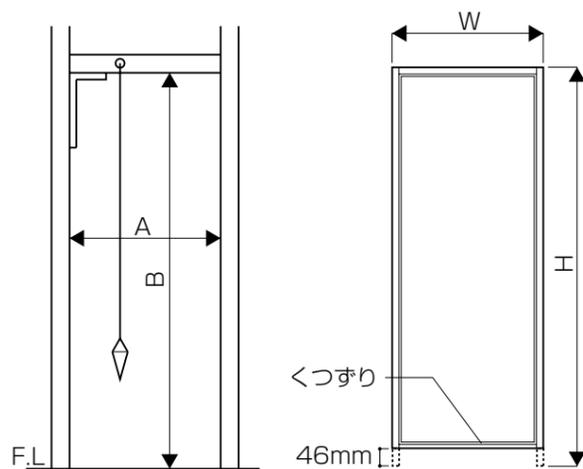
呼称	W(DW)	H(DH)
在来用	0718	754(685) 1895(1791)
	0720	754(685) 2095(1991)
204用	0620	734(677) 2045(1941)

開口部の作り方

※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

開口A寸法: (W)+5mm

開口B寸法: (H)+5mm-(縦枠カット寸法)



組立て・取付け順序

1 枠の組立て

2 枠の取付け

3 戸当りの取付け

4 ケーシング材の取付け

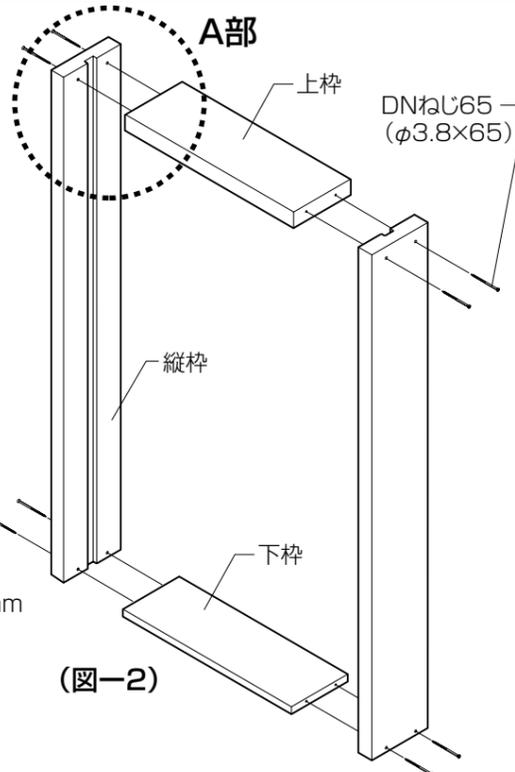
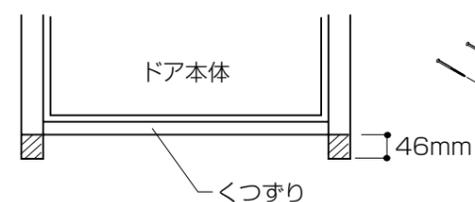
5 戸当りストッパーの取付け

組立て・取付け詳細

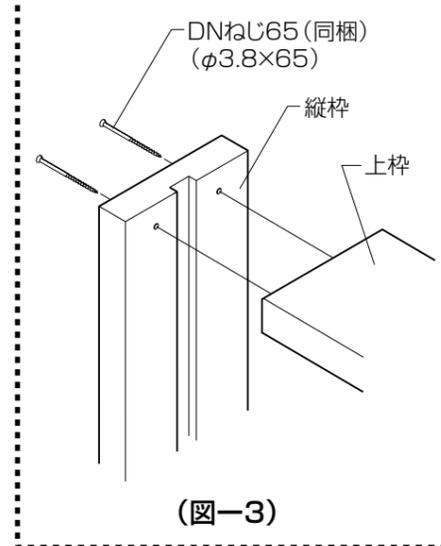
1 枠の組立て

- ①縦枠は46mm長く設定されています。現場の納まりに合わせてカットしてください。(図-1)
- ②上下枠と縦枠を、DNねじ65で止めて枠組みます。

(図-1)



A部詳細図



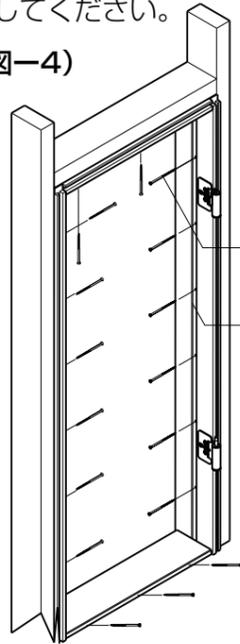
(図-2)

(図-3)

2 枠の取付け

- ①トラスタッピンねじで戸当り溝部下穴より躯体に取付けます。
- ②枠定規ですき間が生じていないか確認した後、本固定してください。

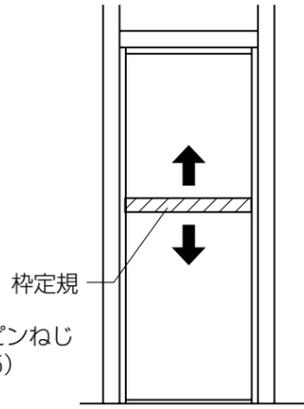
(図-4)



トラスタッピンねじ
(φ4.0×55)

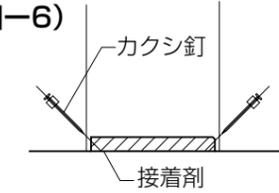
戸当り溝

(図-5)



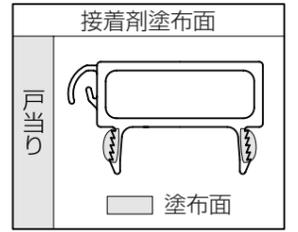
※くつずりは、接着剤を塗布し、カクシ釘などで固定してください。

(図-6)



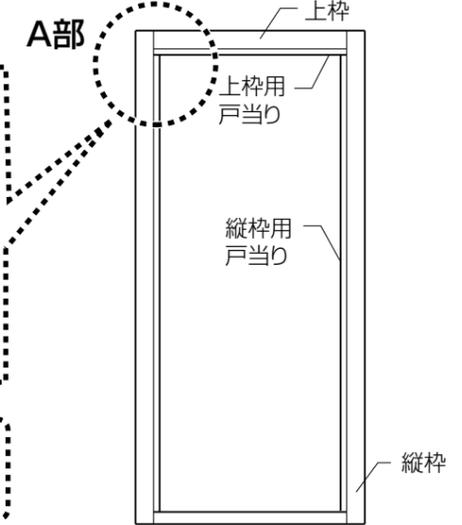
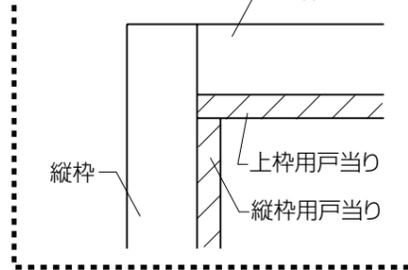
3 戸当りの取付け

- ①現場で戸当りの寸法を合わせて切断してください。
 - ②戸当りの足の外側(リブのある面)に接着剤(現場手配)をつけ、固定してください。(塗布面は下図参照)
- 接着剤がはみ出した場合は必ずふき取ってください。
- ※上枠用→縦枠用の順に取付けてください。



(図-7)

A部詳細図

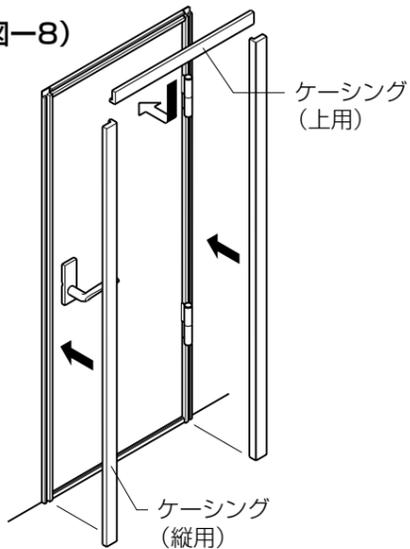


●ハンマーなどで直接たたき込まないでください。

4 ケーシング材の取付け

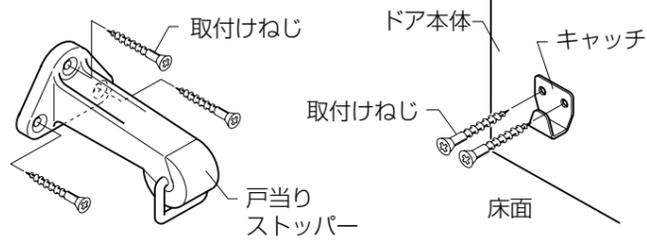
- ケーシング材を取付けます。
 - ①別梱のケーシング材を現場寸法に合わせてカットします。
 - ②枠のケーシング溝へケーシングを差込みます。
 - ③ケーシング溝とケーシング裏面に接着材を塗布し、ケーシングを固定します。
- ※仮止めする場合は、専用カクシ釘をご使用ください。

(図-8)

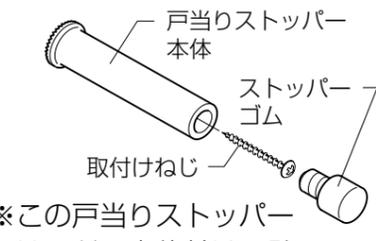


5 戸当りストッパーの取付け

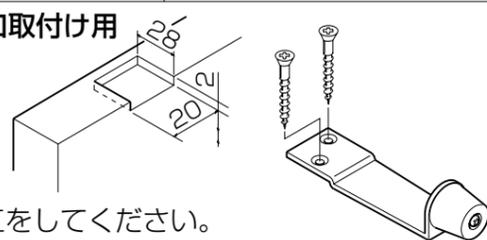
■壁床付け用(別売)



■本体取付け用(別売)



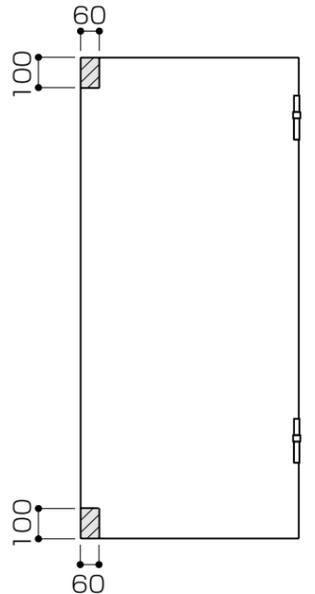
■ドア本体上部木口取付け用(別売)



本体上部に必ず加工をしてください。
※内開き扉には使用できません。

【本体取付け用戸当りストッパー及び、キャッチの取付け範囲】

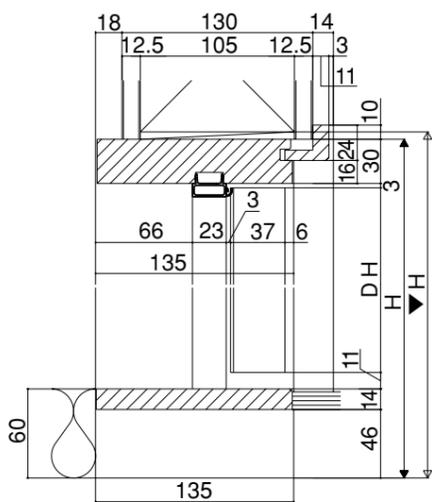
- ※下図の斜線範囲内に戸当りストッパー本体、又はキャッチを取付けてください。
- ※壁付け、床付け戸当りは、キャッチの位置に合わせ、壁又は床に取付けてください。
- ※戸当り取付け時には、φ1.5の下穴をあけて手回しで固定してください。電動ドライバーなどの電動工具で締付けると空回りすることがあります。
- ※内開き扉の場合には、襖縁を避けて取付けてください。



■納まり図

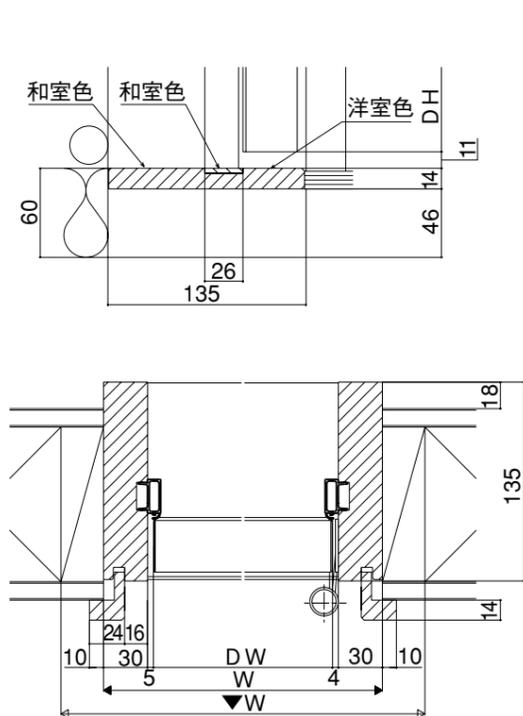
(薄壁用)

くつずり標準タイプ



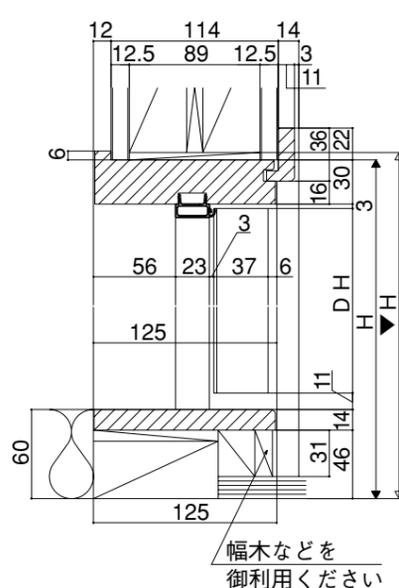
注)1.本図は右吊元用を示し、左吊元用は本図と対称とする。

くつずりDXタイプ



(204用)

くつずり標準タイプ



くつずりDXタイプ

